

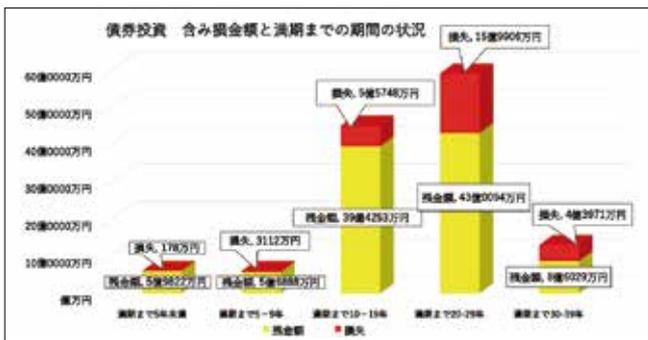


税金の債券運用の 含み損は

河合 克平議員

債券運用129億円の含み損は26億円

会計室室長補佐



▲満期年度と含み損

問 運用について決裁の問題など重大な法令違反の可能性もある。「ロ」ナワフチン接種後重大案件と同様、第三者委員会にて検証を行うことが必要では。

答 報告は受けていないが、平成27年からの購入は市長の知らない中で行われたのか。

答 報告は受けていないが、運用をしていること自体は認識していた。

問 運用について決裁の問題など重大な法令違反の可能性もある。ロ」ナワフチン接種後重大案件と同様、第三者委員会にて検証を行うことが必要では。

答 7年2月から5回にわたり、公金管理委員会において、これまでの基金の管理・運用の経緯や問題点等を詳細に調査・検証し、7年3月31日に検証結果をまとめた。明らかとなった課題に対応しており、第三者委員会を設置する予定はない。

問 債券など有価証券等の含み損26億円の詳細は。

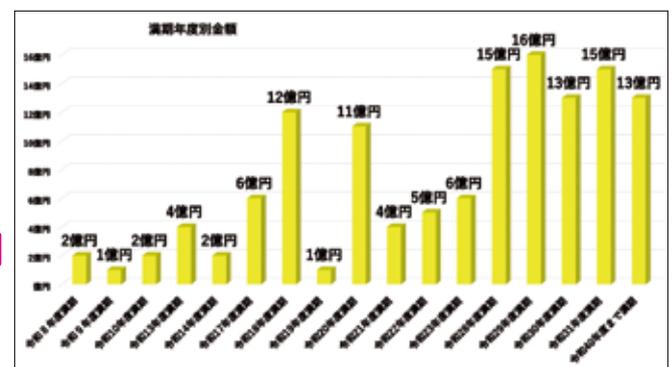
答 令和7年1月末時点で債券が78本、額面129億円、含み損は約26億円だ。

問 6年度の債券の売却損益は。

答 6年度の債券の売却は、6年12月に7本、額面10億円、売却益が約150万円、7年3月に2本、額面2億円、売却

損益約1320万円であるが、年間の運用益としては、約9000万円だ。

問 6年8月まで市長が報告を受けていなかったことは重大な問題だ。法律上も基金の運用自体は普通地方公共団体の長の権限に属し、会計管理者は、長の決定した運用方針に従って現金及び有価証券の出納保管のみを行うと地方自治法の解説に



▲満期年度別の債券の満期状況